

# ベクトルとは



を  $\overrightarrow{AB}$  と書きます。

# ベクトルとは

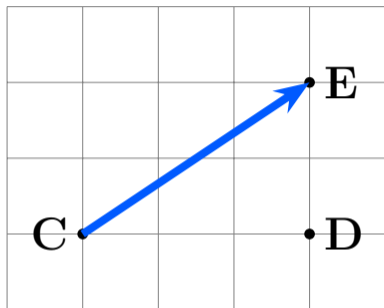


を  $\overrightarrow{AB}$  と書きます。

$\overrightarrow{AB}$  の大きさ（長さ）を  $|\overrightarrow{AB}|$  で表します。

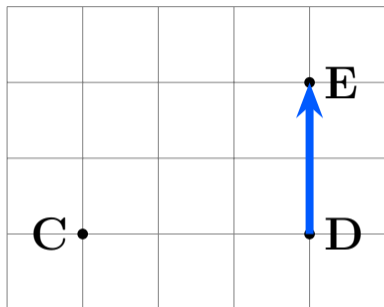
「長さ」のほうが分かりやすいですが、ベクトルの学習をするときは「大きさ」という言い方をします。

# ベクトルとは



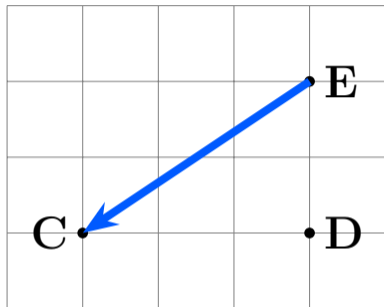
を  $\overrightarrow{CE}$  と書きます。

# ベクトルとは



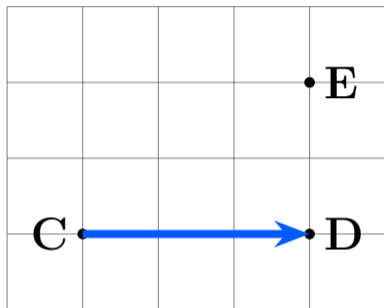
を  $\overrightarrow{DE}$  と書きます。

# ベクトルとは



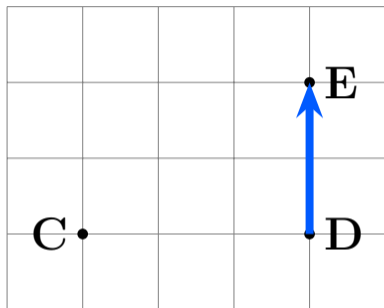
を  $\overrightarrow{EC}$  と書きます。

# ベクトルとは



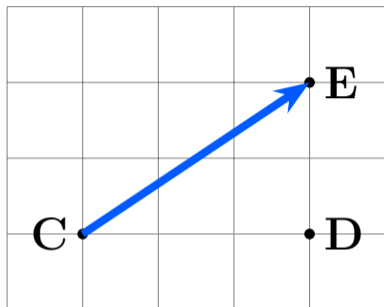
$$|\overrightarrow{CD}| = 3 \text{ です。}$$

# ベクトルとは



$$|\overrightarrow{DE}| = 2 \text{ です。}$$

# ベクトルとは

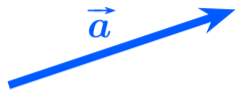


$$|\overrightarrow{CE}| = \sqrt{13} \text{ です。}$$

※ そのうち学習します



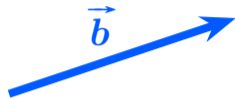
# ベクトルとは



のように書くこともあります。

大きさ（長さ）は  $|\vec{a}|$ ,  $|\vec{b}|$  です。

# ベクトルとは



のとき

(向きと大きさが同じとき)  $\vec{a} = \vec{b}$  と書きます。

つまり始点の違いは無視します。

# ベクトルとは



(向きが正反対で大きさが同じとき)

# ベクトルとは



(向きが正反対で大きさが同じとき)

$\vec{a}$  の逆ベクトルといい  $- \vec{a}$  と書きます。